

## 視察について

## 1. 視察目的

先進的な取組を行っている企業・団体等を視察し、情報収集を行い狛江市の男女共同参画社会実現に向けて考察する。また、その情報を情報誌等で市民へ発信する。

## 2. 視察時期

11～12月頃（予定） ※オンラインの可能性あり

※コロナ禍のため少人数での視察を想定

## 3. 視察先

## ●候補1：社会福祉法人 いのちの電話

令和3年度東京都女性活躍推進大賞特別賞（特別賞）受賞。

※特別賞…コロナ禍において困難な立場に置かれた女性等の支援を行った。

昭和46年（1971年）に開局以来、女性が7割以上を占めるボランティア相談員を中心に半世紀にわたり活動しており、コロナ禍で相談内容が深刻化する中、女性が約6割を占める相談者の悩みに寄り添い事業を継続している。また、自殺予防に向けた取組として自殺予防対策オープンセミナーの開催や、都内各地で自殺予防グッズを配布している。

東京から始まった活動が波及し、全国に約50の「いのちの電話」センターが設立されている。

電話相談受信件数（令和2年度実績）：16,626件（女性9,598件、男性7,028件）

## ●候補2：小田急電鉄株式会社

平成30年2月に多様な人材の活用を企業成長に繋げていく指針として「小田急電鉄 ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を制定し、ダイバーシティ推進担当の設置や、啓発活動を行っている。平成30年3月には経済産業省が主催する、平成29年度「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選定された。

また、女性活躍推進に向けて数値目標（例：令和7年度までに、女性管理職比率を6.0%とする等）を設定し、さらに高齢者や障がい者雇用の推進にも励んでいる。働き方改革では、シフト勤務、在宅勤務、サテライトオフィス勤務を取り入れ、業務の効率化、時間外労働の削減に努め、ワーク・ライフ・バランスを推進している。